

KENWOOD



JK Sustainability

スタンドアローン型
1 カメラドライブレコーダー

DRV-D20S

取扱説明書

株式会社 JVCケンウッド
© 2025 JVCケンウッド Corporation

B5A-4961-00

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、本書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。また、
本書は大切に保管してください。本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用する
ことはできません。

My-Kenwood (ユーザー登録)のご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート
情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。
下記ウェブサイトで会員規約をご確認になり、My-Kenwood をご利用ください。
<https://jp.my-kenwood.com>

主な仕様	
電源電圧	DC5.0V (12/24V 車両用シガープラグコード付属)
録画時消費電流 (最大)	410mA/5V
測位衛星	GPS
G センサー	イベント記録設定：6 段階
液晶サイズ	2.0V 型 フルカラー TFT 液晶
撮像素子	1/2.8 型 フルカラー CMOS
最大記録画角	水平：約 111° / 垂直：約 58° / 対角：約 135°
F 値	F2.0
動作温度範囲	－ 10℃～＋ 60℃
最大記録解像度	FullHD(1920 × 1080) (動画約 207 万画素)

主な仕様	
フレームレート	27.5fps
記録方式	常時録画 / イベント記録 / 手動録画
常時録画ファイル単位	1 分
録画フォーマット (動画)	H.264/MPEG-4 AVC
録画フォーマット (静止画)	JPEG 準拠 (1920 × 1080)
記録映像再生方法	本 機 / 専 用 ビ ュ エ ア ソ フ ト [KENWOOD ROUTE WATCHER II] (当 社 ホ ム ペ ー ジ より ダ ウ ン ロ ー ド) / Windows 標準のメディアプレイヤーなど
記録メディア	microSD カード 16GB～128GB 対応 UHS スピードクラス U3 またはビデオスピードクラス V30 以 上
外形寸法 (W) × (H) × (D) (突起物除く)	W：61mm/H：55mm/D：42mm ブラケット (テープ貼り付け) 装着時高さ：最大 81mm
質量 (重さ)	68g (ブラケット / ケーブル含まず、microSD カード含む)
電源ケーブル長	3.5m (シガープラグコード)

この装置はクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的
としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障
害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。
0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)
0570-010-114 (携帯電話からはナビダイヤル)
045-450-8950 (一部 IP 電話など) / FAX 045-450-2308
〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
土曜・金曜： 9:30 ～ 18:00
土曜・日曜・祝日および当社休日は休ませていただきます
- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

保証とアフターサービス

保証について

- 保証書 この製品には、保証書を添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販
売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してく
ださい。
- 保証期間 お買い上げの日より 3 年です。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたは JVC ケンウッドカス
タマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ
<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>
JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター
0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)
0570-010-114 (携帯電話からはナビダイヤル)
045-450-8950 (一部 IP 電話など) / FAX 045-450-2308
受付時間などは、裏表紙を参照してください。

修理を依頼されるときは
製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポ
ートセンターにお問い合わせください。

修理に出される場合は、お客様が登録、設定したメモリ内容がすべて消去されることがあ
ります。あらかじめご了承ください。

- 保証期間中は…
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスセンターが修理
させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因 (衝撃や水分、
異物の混入など) による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後は…
お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
- 補修用性能部品の保有期間
この製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 6 年保有しています。補修用性能部品とは、
その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証とアフターサービス

- 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。
製品をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒に持ちください。(本機と一緒に
持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。)
製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。
保証期間外に関わらず、修理、点検のために製品を車庫から取り外し、または取り付けの作
業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

技術料：

製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

安全上のご注意 (必ずお読みください)

■ **本機の取り付け、配線、操作を始める前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。**
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りい
たいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明
しています。

⚠ 危険	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定され る内容を示しています。
⚠ 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示していま す。
⚠ 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発 生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく 内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

⚠	注意 (しなければならぬ) の内容です。
🚫	禁止 (してはいけない) の内容です。
❗	実行 (かならず行っていただく) の内容です。

- 免責事項について
お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合または
この製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を
除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 著作権について
・録画・撮影・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で
使用できません。
- ・鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合があります
すので、ご注意ください。

内蔵電池について (本機は充電式電池を内蔵しています)

⚠ 危険

● **本機 (内蔵電池) の取り扱いに注意する**
本機は充電式電池を内蔵しています。次のことを必ず守ってください。

- 分解・改造しない
- 加熱したり、火の中に入れたりしない
- ダッシュボードなど直射日光の強いところや炎天下の車内などの異常に
高温となる場所に放置しない

内蔵電池が発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。

● **内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する**
本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池を加熱したり、分解・改造したり、火や水の中に入れない
- 内蔵電池を火のそばや炎天下などに置かない
- 内蔵電池のコネクターに絶縁テープをはる

発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。

⚠ 警告

● **内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する**
本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かない
- 内蔵電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにきれいな水で目を洗
い、医師の治療を受ける

けがや事故の原因となります。

取り付けや配線について

⚠ 警告

● **本機は DC12V/24V ♂アース車以外で使しない**
火災や故障の原因になります。DC12V/24V ♂アース車以外で使しない
でください。

- 🚫 **エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない**
エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバッグ装着車に取り
付けの場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。
- 🚫 **取り付けやアース配線に車の保安部品 (ステアリング、ブレーキ、タンクなど)
のボルトやナットを絶対に使用しない**
交通事故やケガの原因となります。
- 🚫 **視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない**
交通事故やケガの原因となります。
- 🚫 **本機は保安基準の取り付け許容範囲外に貼り付けない**
視界不良や本機がはずれて、事故の原因となります。
- ❗ **取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する**
取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った
取り付けや配線をする と車に重大な故障をきたし交通事故の原因となります。
安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
- ❗ **説明書に従って取り付け・配線をする**
火災や故障の原因となります。作業は手順どりに正しく行ってください。
- ❗ **必ず付属の部品や指定の部品を使用する**
機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。
- ❗ **作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する**
車体に穴を開けて取り付ける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・
接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。
火災や感電の原因となります。
- ❗ **コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する**
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故
の原因となります。
- ❗ **車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように
配線する**
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。
- ❗ **コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する**
被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原
因となります。

- ❗ **取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する**
車の電装品 (ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど) が正常に動作
しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。
- ❗ **ネジなど小物部品や microSD カードは乳幼児の手の届かないところに置く**
あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、
ただちに医師と相談してください。
- ❗ **本機に付属の電源コードを使用する**
付属以外の電源コードを使用すると、火災、感電の原因となります。
- ❗ **本機に付属のシガープラグコードを使用する**
付属以外のシガープラグコードを使用すると、火災、感電の原因となります。
- ❗ **シガープラグは、確実に差し込む**
確実に差し込みめない場合、接触不良により火災、感電の原因となります。
- ❗ **シガープラグを抜くときは、プラグを持って抜く**
コードが破損し火災、感電の原因となります。
- ❗ **使用後または長時間使用しないときは、シガープラグを抜く**
車種によってエンジンを切ってもシガーライター電源が切れない場合があり
ます。火災やバッテリー上がりの原因となります。
- ❗ **シガープラグは定期的に清掃する**
ほこりが付着していると火災の原因となります。
- 🚫 **ぬれた手でシガープラグを抜き差ししない**
感電の原因となります。

⚠ 注意

- 🚫 **水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けけない**
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- 🚫 **機器の通風口や放熱板をふさがない**
機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
- ❗ **コードの扱いに注意する**
コードを傷つける。無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する。重い
ものをのせる。熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートに
より、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について

⚠ 警告

- 🚫 **分解・修理および改造はしない**
分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るの は絶対
におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。
- 🚫 **音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない**
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。
- 🚫 **機器内部に、水や異物を入れない**
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発
煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご
注意ください。
- 🚫 **故障や異常な状態のままで使用しない**
画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・
異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の
原因となります。
- 🚫 **運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない**
必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用く
ださい。交通事故の原因となります。
- 🚫 **雷が鳴り出したら、電源コードや本機に触れない**
落雷による感電の原因となります。
- ❗ **ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する**
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交
換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口 に依頼してくださ
い。

⚠ 注意

- 🚫 **本機を車載用以外で使用しない**
発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。
- ❗ **走行前に本機の取り付け状態を点検する**
本機の脱落、落下等により、けがや交通事故の原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

⚠ 警告

- ❗ **異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店がサービス窓口
に相談する**
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

使用上のご注意

- ・ご使用前に、角度調整の緩みや両面
テープのはがれなどがなければ点検
してください。運転の妨げや事故の
原因となることがあります。
- ・本機の動作電源電圧は DC12V/24V
です。必ず付属の電源ケーブルを使用
し接続してください。ケーブルの改造
(バッテリーに直接つなぐ) などは絶
対に行わないでください。

内蔵バッテリーについて

- ・本機は時計のバックアップをするため
のリチウム二次電池を内蔵しています。
- ・購入直後はバッテリーが十分に充電され
ていません。時刻がリセットされるとき
は、本機の電源を 1～2 時間オンにして
充電してください。

ご使用について

- ・カメラのレンズをふさいだり、汚したり、
レンズの近くに反射物を置かないでくだ
さい。
- ・車両のフロントガラスにコーティング剤
が使用されている場合は、録画品質に影響
が出る可能性があります。
- ・本機が応答しなくなった場合は、電源を
入れ直してください。
- ・LED 信号機の色が認識できなかったり、
ちがっていたりする映像が記録される場合
がありますが、本機の故障による症状で

衛星受信について

- ・衛星信号は、固体物質 (ガラスを除く)
を通過することができません。トンネル
や建物の中にいる場合、衛星信号の受信
ができません。衛星信号の受信は、悪天
候や密集した頭上の障害物 (例えば、樹
木、高架構造または高層ビル) などの影響
を受ける可能性があります。
- ・車両のフロントガラス、反射コーティ
ングで着色されている場合、電波を伝え
にくくなり、衛星受信に影響を与える可
能性があります。

本機のお手入れ

- ・本機が汚れたときは、シリコンクロスが
柔らかい布で乾拭きしてください。汚
れがひどいときは、中性のクリーナーを
つけた布で汚れを落とし、その後クリー
ナーを拭き取ってください。固い布やシ
ンナー、アルコールなどの揮発性のもの
で拭くと、傷が付いたり変形や変質、破
損の原因になります。
- ・レンズ部が汚れている場合には、柔らか
い布で軽く拭いてください。強くすると
傷の原因になります。
- ・ご使用前にブラケットの接着面がはが
れていないか、また、結合部の緩みや破損
などで本体の固定が緩んでいないことを
確認してからご使用ください。

定期点検をお願い

・本機の録画機能が動いているか定期的
に確認をお願いします。確認方法は本機ま
たは、ビューアソフト [KENWOOD
ROUTE WATCHER II] で再生し、最新
のファイルが録画されているかの確認を
行ってください。映像の再生方法は、「再
生する」をご覧ください。

個人情報について

- ・microSD カードに録画されたファイル
には、ご自身や同乗者および車外を撮影
した第三者に関わる映像や音声、位置情
報などの個人情報が含まれています。本
機を廃棄 / 譲渡する場合は、必ずお
客様自身によってデータを消去し、確認
してください。個人情報の消去は、「メ
ニューの一覧」[「システム設定」]「個
人情報消去」で行うことができます。よ
り確実にデータを消去するためには
microSD カードを破壊するまたは、市
販のパソコン用データ消去ソフトなどを
使ってデータを消去してください。
- ・当社は未消去のデータの流出による損
害等について、一切の責任を負いかねま

microSD カード使用上のご注 意

- ・市販の microSD カードを使用するときは、microSD カードに付属している取
扱説明書もあわせてご確認ください。
- ・microSD カードは繰り返しデータを書
き換えることにより消耗する特性を持っ
ており、製品寿命があります。定期的に
新しい microSD カードと交換すること
をお勧めします。
- ・microSD カードは消耗部品です。消耗
部品の交換は保証期間内でも有料になり
ます。
- ・本機は microSD カードの書き込みエ
ラーが起きにくい独自システムを採用し
ています。そのため定期的な初期化は不
要です。ただし、付属の microSD カ
ードもしくは推奨品以外をご使用の場
合は、正しく動作しないことがあります。
- ・はじめて使用する microSD カード、ま
た、パソコンなどで microSD カード
内のファイルの変更や削除などをし

本体 / 付属品

部品	個数
本機 (32GB microSD カード挿入済)	1
取付ブラケット	1
シガープラグコード (3.5m)	1

必ずパソコンなどに早めに保存 (コピー)
してください。保存ファイルが失われた
ことによる損害については、当社はそ
の補償を一切いたしかねますので、あらか
じめご了承ください。

- ・microSD カードのフォーマットを行う
と、すべてのファイルが消去されます。
- ・本機の microSD カードフォーマットや
削除、パソコンの機能によるフォーマ
ットでは、ファイルの管理情報が変更さ
れるだけで、microSD カード内のデー
タは完全に消去されません。
- ・microSD カード内のデータはお客様の
責任において管理してください。

部品	個数
本機 (32GB microSD カード挿入済)	1
取付ブラケット	1
シガープラグコード (3.5m)	1

※

- ・microSD カードは消耗部品です。消耗
部品の交換は保証期間内でも有料にな
ります。

ファイルについてのご注意

- ・microSD カード内の必要なファイルは

取り付け/配線のしかた

取り付け手順



- 取り付けの際に電装部品や車両部品を外す必要がある場合、安全のためバッテリーの○端子を外してから作業を行ってください。
- 取り付け後、カメラレンズの保護シートを取り外してください。
- 運転者の視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
- 他の車載機器（安全支援システム用カメラや防眩ルームミラーなど）に影響を与えない位置に取り付けてください。詳しくは車両の取扱説明書を参照してください。
- 運転やエアバッグ動作の妨げにならないように取り付けてください。
- 取り付け後、車両電装品が正常に動くか、必ず動作確認を行ってください。

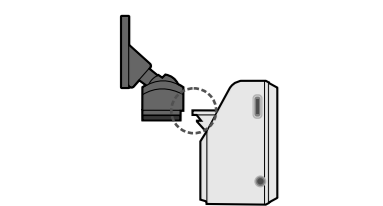
- 水平で安全な場所に車両を駐車する
- 車両のエンジンスイッチを「オフ」にしてバッテリーの○端子を外す
- 推奨取り付け位置を参考に本機の取り付け位置を決めて仮止める
- 付属のシガープラグコードを接続し、仮配線する → 「接続する」
- バッテリーの○端子を接続する
- 車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にして本機の電源が入ることを確認する

- フロントガラス全体の上部 20% の範囲内、または運転者の前方視界を妨げない位置（ルームミラーで隠れる位置）に取り付けてください。
- ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けてください。
- 車検証ラベルなどに重ならないように取り付けてください。
- ワイパーの拭き取り範囲に入るように取り付けてください。ガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより、映像が見づらくなることがあります。

取り付ける

- 配線後に実際の映像を見ながら再調整してください。
- 気泡が入らないように貼り付けてください。
- 両面テープの取り付け強度を強くするため、取り付け後 24 時間以上放置してから使用してください。
- 一度はがした両面テープは再利用できません。

- 取付ブラケットを本機のブラケットに取り付け部に差し込む



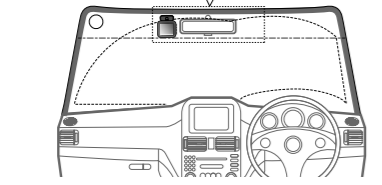
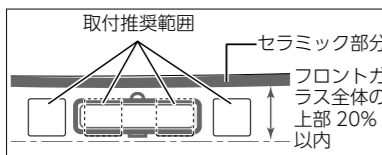
- 「推奨取り付け位置」を参考にして本機の取り付け位置を決める
- 市販のクリーニングクロスなどで取り付け場所の汚れや脂分をきれいに拭き取り、取付ブラケットの両面

- 本機の映像を確認して、取り付け位置と角度を決める
- 車両のエンジンスイッチを「オフ」にして本機の電源を「オフ」にする
- バッテリーの○端子を外す
- 本機を取り付ける → 「取り付けれる」
- 付属のシガープラグコードを接続し配線する
- バッテリーの○端子を接続する
- 車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にして本機の電源が入ることを確認する
- 本機の映像を確認して、角度を調整する → 「カメラ調整」

推奨取り付け位置

下図を参考にして本機、カメラ、シガープラグコードのおおよその位置を決めてください。

- 国土交通省の定める保安基準* に適合するように取り付けてください。
- * 保安基準：道路運送車両の保安基準第 29 条（窓ガラス）



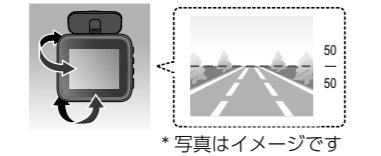
13

- ラジオアンテナの近くに取り付けおよび配線しないでください。ラジオの受信感度の低下やノイズの原因になる可能性があります。
- 本機や本機の電源配線を地上デジタルテレビ受信アンテナの近くや、電装品の近くに取り付けおよび配線をしないでください。テレビの受信感度の低下やちらつき、ノイズの原因になる可能性があります。
- フロントピラーカバーが特殊クリップなどで固定されている車両の場合は、フロントピラーカバーを外すとクリップの交換が必要となる場合があります。フロントピラーカバーの外しかたや交換部品の有無など、詳しくは車両販売店にお問い合わせください。

カメラ調整

- 本機の角度を調整する

地上と空の比率が約 5 対 5 になることを推奨します。



15

microSD カードを入れる / 取り出す

- microSD カードを入れる
microSD カードを microSD カードスロットにカチッと音がするまで挿入します。カードの向きに注意してください。



- microSD カードを取り出す
microSD カードを押して、microSD カードが少し飛び出したら引き抜きます。

microSD カードをフォーマットする

microSD カードを正しく動作させるには、本機のフォーマット機能を使用して microSD カードをフォーマットしてください。→ 「システム設定の変更」

- microSD カードのフォーマットを行うと、すべてのファイルが消去されるため、保存しておきたいファイルがある場合はフォーマットする前にファイルをパソコンなどに保存しておいてください。

- microSD カードのフォーマットを行うと、すべてのファイルが消去されるため、保存しておきたいファイルがある場合はフォーマットする前にファイルをパソコンなどに保存しておいてください。

再生する

1. [●] を押し、メニューを表示する
2. [●] (上から 2 番目) / [●] (上

常時録画

常時録画は 1 ファイルごとの録画時間 (1 分) に分割して録画し、microSD カードの録画領域がなくなると、古いファイルから上書きして常時録画を続けます。
※ 1 ファイルあたりの録画時間は、撮影記録のシーンによっては短くなる場合があります。

イベント記録

常時録画中に突発的な衝撃や予期しない衝突などを検知してイベントを記録します。イベント記録が終了すると常時録画に戻ります。衝撃を検知した時点の常時録画ファイルがイベント記録ファイルとして保存されます (常時録画のファイルとしては残りません)。1 ファイルの録画時間は最大 20 秒 (衝撃検知前 3 秒と検知後 17 秒) です。イベント記録は手動でも記録することができます。

写真

- イベント記録中に再度衝撃を検知するとイベント記録を延長します。また、[●] を押してもイベント記録の延長ができます。
- イベント記録 ファイルを保存する microSD カードの空き容量が不足すると、古いファイルから自動で上書きされます。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。

写真を撮る

録画中に、[●] (上から 3 番目) を押すと写真が撮影されます。写真ファイルを保存する microSD カードの空き容量が不足すると、古い写真から自動で上書きされます。

再生する

1. [●] を押し、メニューを表示する
2. [●] (上から 2 番目) / [●] (上

	16GB	32GB	64GB	128GB
録画時間	約 140 分	約 280 分	約 560 分	約 1120 分

17

項目	設定	説明
情報記録設定	緯度 / 経度 * G センサー値 記録しない	映像の右下に記録される情報 (緯度 / 経度または G センサー値または記録しない) を選択します。
速度情報表示	オン * オフ	映像の右下に記録される速度情報表示の設定をします。

システム設定

項目	設定	説明
衛星受信状態	—	衛星信号の受信状態を表示します。
日付 / 時刻設定	自動 (衛星データ) * 手動	[自動 (衛星データ)] の場合は日本のタイムゾーン (GMT+9) で表示します。 [手動] は日付と時刻を手動で設定できます。 [□] (上から 2 番目) ボタン / [□] (上から 3 番目) ボタンで数値を変更して [□] ボタンで確定します。
システム音設定	オン * オフ	警告音およびボタン操作時の操作音を設定します。
音量設定	—	録画ファイルを再生するときの音量レベルを 5 段階 (消音 / 1 ~ 5) で設定します。 警告音およびボタン操作時の操作音も変更されます。
LCD 表示時間設定	常時表示 * 情報表示 10 分 1 分 3 分	常時録画の画面表示がオフになるまでの時間を設定します。 画面表示をオンにするには、本機のいずれかのボタンを押します。 [情報表示] は 10 秒後に情報表示画面に切り替わり常時表示されます。
言語	English 日本語 *	表示する言語を設定します。
個人情報消去	—	個人情報 / プライバシー情報を消去します。必要な録画ファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存してから操作してください。 ※実行すると録画された映像 / 音声 / 写真 / GPS 位置データを完全に消去します。データの消去が完了すると電源をオフします。

録画時間の目安 (常時録画とイベント記録の総時間)

項目	設定	説明
初期値に戻す	—	メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻します。
バージョン	—	ファームウェアのバージョンを表示します。

フォーマット

項目	設定	説明
フォーマット	—	microSD カードをフォーマットします。 ※実行するとフォーマットされ、すべてのファイルが消去されます。 必要な録画ファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存してから操作してください。

表示メッセージ

表示されるメッセージを見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店または当社サービス窓口へご相談ください。

メッセージ	原因	対処方法
SD カードが入っていません	・microSD カードを入れていない状態で電源をオンにした。 ・microSD カードが抜けたことに気づかず、microSD カード関連のメニュー設定を行った。	microSD カードを入れてください。→ 「microSD カードを入れる」
フォーマットが必要な SD カードを検出しました。SD カードをフォーマットしましたか？	microSD カードが認識できる形式でフォーマットされていない。	[□] を押して、フォーマットを行ってください。
SD カードエラーです。フォーマットするか、新しい SD カードに交換してください	認識できない microSD カードが挿入されている。	microSD カードを本機でフォーマットしてください。→ 「microSD カードをフォーマットする」 フォーマットしても、同じ表示が出る場合は、新しい microSD カードを入れてください。→ 「microSD カードを入れる」

商標について

- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- 本製品は AVC Patent Portfolio License に基づき、以下の用途にのみライセンスされています。
 - 消費者が個人的かつ非営利目的で、MPEG-4 AVC 規格に準拠する動画 (以下、AVC Video) を記録する場合
 - AVC Video (消費者が個人的に非営利目的で記録したもの、または MPEG LA よりライセンスを取得したプロバイダが記録したもの) を再生する場合

ソフトウェアについて

本製品には、以下に記載しています第三者のソフトウェアが含まれています。各ソフトウェアについては、後述するライセンス条件が適用されます。

Konatu Font
適用ライセンス：MIT License

Google Noto Font
適用ライセンス：SIL Open Font License 1.1

第三者のソフトウェアに適用されるライセンス条件

MIT License
Copyright (c) 2012 MASUDA mitiya

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights

linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS
"Font Software" refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such. This may include source files, build scripts and documentation.

"Reserved Font Name" refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

"Original Version" refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

"Modified Version" refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting - in part or in whole - any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.

5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION
This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER
THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

なお、許諾ソフトウェアにはライセンスが第三者より直接的に又は間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれる場合があります。その場合には一部は第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては、本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます。* ソフトウェアに関する重要なお知らせ *

第 1 条 (総則)
ライセンサーは、許諾ソフトウェアの日本国内における非独占的かつ譲渡不能な使用権 (第 3 条第 1 項に定める例外を除く) を使用者に許諾します。

第 2 条 (使用権)
1. 本契約によって生ずる使用権とは、許諾ソフトウェアを本製品で使用する権利をいいます。
2. 使用者は許諾ソフトウェア及び関連書類の一部若しくは全部を複製、複写、修正、追加、翻訳等の改変、若しくは真作することとができます。

3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的と否に関わらずいかなる目的でも頒布、ライセンス、若しくはサブライセンスをすることができません。

4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書又はヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部又は一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。

23

第 3 条 (許諾条件)
1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア (その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む) の使用権については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。

第 4 条 (許諾ソフトウェアの権利)
許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサー又はライセンサーに許諾ソフトウェアの使用権と再許諾権を許諾した原権利者 (以下、原権利者) に帰属するものとします。

第 5 条 (ライセンサーの免責)
1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び原権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。

2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権及び知的財産権に関連する法律に従うものとします。

第 6 条 (第三者に対する責任)
使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第 7 条 (秘密保持)
使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示又は漏洩しないものとします。

第 8 条 (契約の解除)
ライセンサーは、使用者において次の各号の一に

24